

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

8月の活動予定

8月3日(火) 第一例会

8月29・30日(日・月) 西穂高岳

テント泊

CL:

物見の練習は8月26日まで延長します。

9月の活動予定

9月7日(火) 第一例会

9月18or19日(土 or 日) 中ノ岳

CL:

7月の活動報告

第42回北信越国民体育大会スポーツクライミング競技

日時 7/10(土)、7/11(日)

場所 小谷村交流センター ちゃんめろ体育館

県山岳協会東北信支部が取りまとめ、スタッフ参加としてホワイトバーチより

が日を分けて参加しました。スタッフの業務は主に選手の呼び出し(選手が競技場所に出る前の控え室での準備など)、コロナ禍での大会なので会場での消毒拭き取り(選手が入れ替わりした際の椅子の消毒など)という内容でした。

最近ではテレビでクライミング競技を見ることはありますが、実際に競技を見るのはもちろん初めてです。点数競技なのでルールも厳しく、何よりその競技の持つ雰囲気を感じられ

刺激的でした。表現は悪いかもかもしれませんがスポーツクライミングは、登らせないことを前提としてコースを設定するので選手は落ちるのが当たり前。アルパインクライミングは落ちてはいけないので一口にライミングとは言っても大分内容が違うものだと感想と持ちました。それでも



大会スタッフとして参加させてもらい、選手のフィギアエイトノットの結び目や末端のロープの長さなどを間近で確認できとても参考になり貴重な体験となりました。

7月17日(日)火打山

参加者:

天気:快晴

駐車場は、ほぼ満車に近い状況だった。梅雨も明けて今日は暑くなりそうだ。木々の間から見える空が本当に青い。花の名所でもある火打山は、シーズン真っ盛りという事もあるが、ゆっくと進む。十二曲がり過ぎたが、ここからが急登だった。高谷池に着くとテント場は色とりどりのテントでいっぱいだった。残雪の残る火打山がとてもきれいだ。

そして、ここからが今日のお目当てのお花畑たち。天狗の庭はワタスゲ、コバイケイソウ、イワウチワ、ハクサンコザクラ、もういっぱい。池塘に写る火打山もクッキリと、まるでプロが撮った写真の様だ。「この先まだ、いっぱいお花畑があるから」。何度も火打山に来ている下井ガイドからの頼もしい言葉。下井さんの指差す方を見ると奥の木々の下に人知れず咲くサンカヨウの群落、キヌガサソウの群落。通りすぎてしまふところだった。楽しくなってくる

が、その前にこの斜面を登らねば。雷鳥平の雪田を過ぎるとミヤマキンポウゲ、ミヤマオダマキ(こんな色のオダマキは見たことがないなあ)。強い日差しだが、吹く風が気持ち良い。ふっとひらけると山頂だった。白馬三山、雪倉岳、朝日岳、焼山は煙が出てないな。賑わう山頂で昼食を採る。

下山は、もう一度たくさんのお花畑の中を下る。上から見る天狗平の湿原が本当に夏山らしい眺めだ。天狗平で長い休憩。去り難いが長い帰り道を考えて仕方なく出発。「高谷池よ



り下は、この道が長いよね、木道が長いよね」と文句を言いながら登山口着。

夏山らしい美しい景色と花々に囲まれた幸せな登山でした。



若槻支所 5:00—笹ヶ峰キャンプ場 P6:00—高谷池
9:35/9:50—雷鳥平 10:40—山頂 11:34/12:10—天狗の庭
13:00—高谷池 13:40—キャンプ場 P14:10